

計画年度	令和7年度
都道府県	静岡県
所在市町村	賀茂郡 東伊豆町 河津町

土地改良事業計画書

中山間地域農業農村総合整備事業

伊豆河東地区

事業主体	静岡県
------	-----

目

第1章	目 的	1
第2章	地 域 及 び 地 積	1
第1節	地 域	1
第2節	地 積	1
第3章	現 況	2
第1節	気 象 及 び 海 象	2
1.	一 般 気 象	2
2.	特 殊 気 象	2
3.	海 象	2
第2節	土 地 状 況	3
1.	地形、土壌及び侵食の程度	3
2.	土 地 分 類	4
3.	土地利用の状況	4
4.	土地所有の状況	4
第3節	水 利 状 況	5
1.	用 水 状 況	5
2.	排 水 状 況	7
3.	河 川 状 況	8
第4節	道 路 状 況	9
1.	道 路 概 況	9
2.	主要道路一覧表	9
第5節	地 域 農 業 の 概 況	10
1.	産 業 別 就 業 人 口	10
2.	経 営 耕 地 広 狭 別 農 家 数 及 び 耕 地 の 分 散 状 況 並 び に 専 業 別 農 家 数	10
3.	動 力 農 機 具 及 び 主 要 家 畜 頭 数	10

次

4.	主 要 作 物 状 況	11
5.	農 業 の 動 向	11
第4章	一 般 計 画	12
第1節	事 業 計 画 の 要 旨	12
1.	要 旨	12
2.	事 業 別 面 積	12
第2節	営 農 計 画 及 び 土 地 利 用 計 画	12
1.	営 農 計 画 の 概 要	12
2.	土 地 利 用 区 分	12
3.	作 付 体 系	13
4.	生 産 計 画	14
5.	労 働 改 善 計 画	14
6.	級 地 別 土 地 利 用 区 分	15
7.	土 地 配 分 計 画	15
第3節	用 水 計 画	16
1.	計 画 基 準 年	16
2.	計 画 かん がい 方 式	16
3.	計 画 用 水 系 統	16
4.	計 画 用 水 量	16
5.	水 源 計 画	17
第4節	排 水 計 画	20
1.	計 画 基 準 雨 量	20
2.	計 画 排 水 方 式	20
3.	計 画 排 水 系 統	20
4.	排 水 量	20
5.	排 水 対 策	20

6. たん水検討	21	第2節 排水施設	25
第5節 道路計画	21	1. 排水水門	25
1. 道路及び索道	21	2. 排水機	25
2. 路線配置図	21	3. 排水路	25
第6節 農用地造成計画	21	4. その他	26
1. 農用地造成計画	21	第3節 道路及び索道	26
2. 土壌改良	21	1. 道路	26
第7節 洪水調節計画	22	2. 索道	26
1. 計画基準雨量	22	第4節 農用地造成	27
2. 計画洪水量及び調節量	22	1. 農用地造成工	27
3. 貯水池	22	2. 土壌改良	28
4. 洪水調節検討	22	第5節 洪水調節施設	28
5. 管理計画	22	1. 貯水池	28
第8節 干拓計画	22	2. 頭首工及び導水路	28
第9節 農用地整備計画	23	第6節 干拓施設	28
1. 区画整理	23	1. 堤防	28
2. 暗渠排水	23	2. 潮止め	29
3. 客土	23	3. 付属施設	29
4. 農地保全	23	4. 埋立	29
第10節 老朽ため池改修計画	24	第7節 農用地整備計画	29
1. 洪水吐改修計画	24	1. 区画整理	29
2. 堤体補強計画	24	2. 暗渠排水	30
3. 取水施設改修計画	24	3. 客土	30
第5章 主要工事計画	24	4. 除礫	30
第1節 用水施設	24	5. 農地保全	31
1. 貯水池	24	第8節 老朽ため池改修施設	31
2. 頭首工	25	1. 貯水池	31
3. 揚水機場	25	2. 堤体補強施設	32
4. 用水路	25		

第9節	鳥獣害侵入防止施設	32
第6章	付帯工事計画	32
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	32
第8章	環境との調和への配慮について	32
第9章	換地計画の概要	33
第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	33
第2節	換地区の設定	33
1.	換地区の名称、所在、面積	33
2.	換地区の設定する理由	33
第3節	換地計画樹立の基本方針	33
1.	従前の土地の地積の基準	33
2.	用途別予定地積	34
3.	農用地集団化の方針	34
4.	非農用地の換地方法	35
第4節	土地の評価及び清算の方法	35
1.	評価の方法	35
2.	清算の方法	35
第5節	換地計画樹立の年度計画	35
第6節	換地処分の特則に関する特則	35
第10章	事業費の総額及び内訳	36
第11章	効用	36
第12章	関連する事業	37
第13章	現況・計画図面	37
1.	全体計画図	38

第 1 章 目 的

本地区は、静岡県賀茂郡東伊豆町及び河津町に位置し、伊豆半島東岸山間部の急傾斜地に分散した小規模農地の一部で柑橘の栽培が行われている。これまで地区内では、農地の平坦化及び耕作道路の拡幅等の基盤整備が遅れている。また、農道も狭小であることから、運搬などの農作業に多大な労力を要しており、効率的で生産性の高い農業の展開を阻害する要因となっている。

このため、ほ場整備による区画拡大及び農道の整備を行い、効率的で生産性の高い優良農地を確保するとともに、高収益作物導入等施設の整備を行い、高収益作物である柑橘や花きの導入を推進することによって、農業者の所得の向上を図り、もって地域の特色ある農業の確立に資するものである。

第 2 章 地 域 及 び 地 積

第 1 節 地 域 (変更無し)

(第1表)

事業名	地 域
中山間地域農業農村総合整備事業	静岡県賀茂郡東伊豆町稲取、河津町見高

第 2 節 地 積

(令和8年1月現在) (第2表)

事業名	現況地目	水田	畑	樹園地	採草放牧地	農用地計	山 林	そ の 他	計	備 考
	市町村名	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
中山間地域農業農村総合整備事業	東伊豆町・河津町	6.6	0.0	8.8	-	15.4	1.8	0.8	18.0	
	合 計	6.6	0.0	8.8	-	15.4	1.8	0.8	18.0	

※現況畑面積は0.03ha。

第 3 章 現 況

第 1 節 気 象 及 び 海 象

1. 一 般 気 象

(第3表-1)

観測所名	稲取観測所	かんがい期	非かんがい期	計	備 考
観測期間	1991年～2020年	4月～9月	10月～3月	又は平均	
平均気温(℃)		21.2℃	11.1℃	16.2℃	
降水量	平均(mm)	1,473mm	885mm	2,358mm	
	基準年(mm)	mm	mm	mm	昭和39年を基準年とする
降水日数	平均(日)	68日(月平均 11日)	52日(月平均 9日)	120日(月平均 10日)	
	基準年(日)	日(月平均 日)	日(月平均 日)	日(月平均 日)	昭和39年を基準年とする
根雪期間		月 日 ～ 月 日	日間		
無霜期間		月 日 ～ 月 日	日間		
最多風向		NNE	最大風速	瞬間最大 48.3 m/s	

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備 考
	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	
稲取観測所																
観測期間 M 37 ～ H 30																
最大日雨量(mm)	466	S.51.7.11		271	H.5.7.5		223	H.18.8.8		222	H.15.8.15		218	H.5.11.13		稲取観測所は発生確率のデータなし 以下、石廊崎データ
最大時間雨量(mm)	88	H.16.9.4		81	R.4.9.24		78	H.25.7.18		77	H.15.7.10		73	H.2.9.30		
最大4時間雨量(mm)	258	S.45.9.29	1/704	148	H.1.6.16	1/18	140	H.4.10.9	1/14	138	S.57.8.17	1/12	137	S.56.10.22	1/12	
最大連続雨量(mm)	399	S.60.6.18～ 7.13	1/13	398	H.1.6.14～ 6.25	1/13	369	S.63.8.9～ 8.20	1/10	360	S.59.6.7～ 6.27	1/9	325	H.5.6.29～ 7.5	1/6	
最大連続干天日数(日)	30	H.7.7.24～ 8.22	1/51	23	H.10.12.9～ 12.31	1/18	18	H.9.8.8～ 8.25	1/7	15	H.11.12.9～ 12.23	1/4	14	H.4.7.29～ 8.1	1/3	

3. 海 象

(第3表-3)

観測所名	観測期間	既往最高潮位(m)	さく望平均満潮位(m)	上下弦平均満潮位(m)	平均潮位(m)	上下弦平均干潮位(m)	さく望平均干潮位(m)	既往最低潮位(m)	備 考
実 測 地	年～年								

第 2 節 土 地 状 況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑						受益地標高 (m)		備考	
		傾斜区分	1/1000以下	1/1000}	1/100}	1/20}	1/11.5以上	計	3°以下	3°}	8°}	15°}	20°以上	計	最高		最低
			1/100	1/20	1/11.5	8°	15°		20°								
農中山 村山間 総合地 域整備 事業農 業業	面積 (ha)			3.6	3.0		6.6	0.3	8.5				8.8	228	8	最高:小杉山、最低:田尻	
	比率 (%)			55	45		100	3	97				100				
	合計	面積 (ha)			3.6	3.0		6.6	0.3	8.5				8.8			
		比率 (%)			55	45		100	3	97				100			

(第4表-1-2)

項目 土壌統 (区)名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表									面 積 (ha)			備考	
	土 壤 断 面								堆積様式	母材	中山間地域農業農村総合整備事業			
	色	腐植層	礫層	酸化沈澱物	土性			泥炭層 黒泥層及び グライ層			田	畑		計
					表土 一層	下層土 二層	三層							
稲取統	黒	含	-	-	CL	CL	Lic	-	水積(崩積)	非固結火成岩	6.7	8.8	15.5	静岡県 土地分類 基本調査
白田1統	黒	-	含	-	SiL	LC	LC	-	水積(崩積)	非固結火成岩				
大幡野2統	灰	含	-	-	L	CL	Lic	-	水積(崩積)	非固結火成岩				
白田3統	褐	-	含	-	LC	LC	CL	-	水積(崩積)	非固結火成岩				

※四捨五入による表示のため、各地目の合計面積と計が合わない場合がある。

(第4表-1-3)

事業名	区分	土 壤 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				ガリ侵食の程度		備考
		0%	0%~25%	25%~50%	50%以上	0mm	3mm未満	3mm~5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
	面積 (ha)											
	比率 (%)											

2. 土地分類

(第4表-2-1)

級地別 市町村名	農 用 地 造 成										計 (ha)	備 考
	一級地 (ha)	二 級 地				三 級 地			四 級 地			
		※ (ha)	3° ~ 8° (ha)	8° ~ 12° (ha)	12° ~ 15° (ha)	※ (ha)	15° ~ 20° (ha)	20° ~ 25° (ha)	25° ~ 30° (ha)	※ (ha)		
計												※ は傾斜以外の要因によるもの。 (事業実施地域)

(第4表-2-2)

級地別 市町村名	干 拓					備 考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計 (ha)	
計						

3. 土地利用の状況

(令和8年1月現在) (第4表-3)

事業名 市町村名	土地利用別	耕 地					山 林		採 草 放牧地 (ha)	原 野 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水 田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	茶 園 (ha)	その他の 樹園地 (ha)	用材林 (ha)					
中山間地域農業農村総合整備事業	東伊豆町	2.4	0.0		0.3			0.5			0.2	3.4	
	河津町	4.2			8.5			1.3			0.6	14.6	
	計	6.6	0.0		8.8			1.8			0.8	18.0	

※四捨五入による表示のため、各地目の合計面積と計が合わない場合がある。

4. 土地所有の状況

(令和8年1月現在) (第4表-4)

事業名	所有別 区分	個人所有	国 有	県 有	市 有	計	備 考
		面積 (ha)	18.0				
中山間地域農業農村総合整備事業	受益者数 (人)	93				93	
	筆 数 (筆)	223				223	
	権 利 関 係	所有権					
	備 考 (関係戸数)	93				93	

第 3 節 水 利 状 況

1. 用 水 状 況

(1) 用 水 系 統

該当なし

(2) 用 水 施 設

(ア) 取 水 方 法 一 覧 表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積				計		水利権		慣行水利権		延べ取水量	備考
		100 ha以下				箇所	ha	箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s	m ³ /s	
		箇所	ha										
	貯水池												
	井堰												
	自然取入口												
	揚水機												
	その他												
	計												

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	箇所数 (箇所)	受益面積 (ha)	構造	規模	新設又は更新年	改修を必要とする理由	備考
	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面積 ha	現況 必要水量 千m ³	不足水量				平均減産量		備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		作物名	減産量	
				平均	基準年	平均	基準年			
				m ³ /S	m ³ /S	千m ³	千m ³		t	
	計									

(イ) その他の被害状況

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい 面積 ha	水温		水質	被害量 t	備考
			最高	最低			
			℃	℃			

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (百万円)						備考	
	水田	畑	その他	計	作物	農地	農業施設	公共施設	家屋その他	計		
計												

2. 排水状況

(1) 排水系統

虎丸:田、樹園地⇒自然溪流へ排水、田尻:田⇒普通河川田尻川へ排水、中川:田、畑、樹園地⇒二級河川稻取大川へ排水、小杉山:田、畑、樹園地⇒自然溪流へ排水

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目		排水面積						計		排水慣行 (m ³ /S)	現況排水能力 (m ³ /S)	備考
			500 ha以上		500 ha～100 ha		100 ha以下						
	施設名	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha				
中山間地域農業 農村総合整備事業	自然	排水路					4	6.6	4	6.6	不明	不明	
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計						4	6.6	4	6.6			

(イ) 改修を要する施設の一覧表

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
	施設名	箇所数							
中山間地域農業 農村総合整備事業	自然	排水路	4	6.7	土水路		不明	樹園地化により盛土造成を行うため	
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計								
合計			4	6.7					

(3) 排水に関する被害状況

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状況 (ha)						平均減産量		備考
					湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m ³)	田		樹園地		その他		作物名	減産量 (t)	
									乾	湿	乾	湿	乾	湿			
			平均														
			基準年														
	計		平均														
			基準年														
	合計		平均														
			基準年														

3. 河川状況

(1) 河川の現況

(第5表-7)

河川名	項目 流路状況	勾配	断面		安全洪水量 (m ³ /s)	既往最大洪水量 (m ³ /s)	備考
			下幅	上幅・高さ			

(2) 洪水に関する被害状況

(第5表-8)

区分	農用地 (千円)	農用施設 (千円)	作物 (千円)	公共施設 (千円)	備考
過去の最大被害額					
平均被害額					

第 4 節 道 路 の 状 況

1. 道 路 概 況

.....道路は、海岸沿いを南北に通る国道135号線とそれから延びる基幹農道見高稲取線及び一般農道稲取線が町内の主要な集落を結ぶ道路としての重要な.....
役割を担っている。.....

2. 主要道路一覧表

(第6表)

No	路 線 名	管理区分別	延 長 (m)	幅 員 (m)		構 造	改 修 の 要 否	備 考
				全 幅	有 効			
	国 道 135 号 線	静 岡 県	940,000	6.5	5.5	As舗装	無	
	基 幹 農 道 見 高 稲 取 線	東伊豆町・河津町	4,250	6.5	5.5	As舗装	無	
	一 般 農 道 稲 取 線	東伊豆町	2,840	6.5	5.5	As舗装	無	

第 5 節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表-1)

項目 市町村名	総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱 業 (人)	建 設 業 (人)	製 造 業 (人)	供 電 給 水 道 業 熱 業 (人)	運 輸 通 信 業 (人)	飲 卸 売 食 小 売 店 業 (人)	金 融 保 険 業 (人)	不 動 産 業 (人)	サ ー ビ ス 業 (人)	公 務 員 (人)	そ の 他 (人)	備 考
東伊豆町	5,552	380	7	66	0	467	119	24	197	2,206	53	143	1,714	173	3	R2 国勢調査
河津町	3,308	344	11	34	0	337	123	9	123	1,019	34	53	1,073	132	16	R2 国勢調査
計	8,860	724	18	100	0	804	242	33	320	3,225	87	196	2,787	305	19	
比 率 (%)	100	8.2	0.2	1.1	0.0	9.1	2.7	0.4	3.6	36.4	1.0	2.2	31.5	3.4	0.2	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

(第7表-2)

区 分 市町村名	農 家 総 戸 数 (経営体)	経 営 耕 地 広 狭 別 農 家 数 (経営体)										1戸当り平均農用地面積 (ha)					耕地の分散状況		専兼別農家数 (戸)			備 考		
		0.3 ha	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 15.0	15.0 ha 以上	例外規定 の概要を 受ける もの	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	1戸 当り 団地 数	団地 面積	主 業 経 営 体		兼 業	備 考
		未 満	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	15.0	以上												準主業 経営体	副業的 経営体
東伊豆町	174	26	45	57	24	7	12	3				0.20	0.33	0.75	0.78	-	0.78	3	0.23	48	25	100	2020年 農林業センサスより	
河津町	158	51	42	49	10	4	1	1				0.23	0.22	0.47	0.51	-	0.51			35	13	109		
計	332	77	87	106	34	11	13	4				0.23	0.28	0.63	0.65	-	0.65	3	0.23	83	38	209		
比率(%)	100.0	23.2	26.2	31.9	10.2	3.3	3.9	1.2												25.2	11.5	63.3		

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項目 市町村名	動 力 農 機 具								主 要 家 畜								備 考
	トラクター		コンバイン		田 植 機		乾 燥 機		乳 用 牛		肉 用 牛		豚		備 考		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 頭	戸数 (戸)	数量 頭	戸数 (戸)	数量 頭	戸数 (戸)			
東伊豆町	6	5	2	2	6	5	-	-	-	-	-	-	-	-	2015年 農林業センサスより		
河津町	27	2	12	12	27	26									2020以降調査なし		
100戸当数量(台)	471				106												
利用戸数割合(%)	2				9												

4. 主要作物作付状況

(平成 18 年 月 現在)

(第7表-4)

市 町 村 名			東 伊 豆 町		河 津 町				備 考	
総 耕 地 面 積			342 ha		379 ha		ha			
区 分			作付面積 (ha)	単位面積 当り収量 kg/10a	作付面積 (ha)	単位面積 当り収量 kg/10a	作付面積	単位面積 当り収量		作 付 率 (%)
田	表作	水 稻	2	502	29	502			4.3	第54次 静岡農林水産統計年報 (町全体) 以降、市町ごとの統計データなし
	裏作	—								
	小 計		2	/	29	/			4.3	
畑	だ い こ ん		2	5,627	2	5,627			0.6	
	ば れ い し ょ		2	2,169	2	2,169			0.6	
	い ち ご		2	3,279	2	3,279			0.6	
	小 計		6	/	6	/			1.7	
	樹園地	温 州 み か ん		36	1,826	18	1,826			
甘 夏		45	1,309	46	1,309			12.6		
小 計		81	/	64	/			20.1		
計			89	/	99	/			26.1	
市 町 村 別 延 作 付 率 (%)			26.0		26.1					

5. 農業の動向

(第7表-5)

項目	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地域指定等	東伊豆町	河津町	備考
	項目	B	A	地 目	B	A	作物名	B	A	家 畜 名	B	A	機 具 名	B	A				
変化の状況 (C年を100とする指標)	総 農 家 数	91.6	78.2	耕 地	85.5	-	水 稻	61.5	-	乳 用 牛	-	-	トラクター	110.0	-	農業振興地域	S47	S47	
	主 業 経 営 体	76.1	53.5	田	88.3	-				肉 用 牛	-	-	田 植 機	71.7	-	過疎地域	-	R3	
	準 主 業 経 営 体	74.2	57.6	畑	85.1	-				豚	-	-	コンバイン	73.7	-	山村振興地域	S44	S45	
	副 業 的 経 営 体	88.6	88.6							養 鶏	-	-				特定農山村地域	H5	H5	
	総 農 家 数	91.6	78.2													半島振興	S61	S61	
変化の理由	農業従事者の高齢化及び後継者の農業離れによる			農地転用による減少			耕地面積の減少、 水稻の生産調整。 営農形態の変化による。			生産環境の変化による			農業経営の減少による						

農業センサス A:2020年・B:2015年・C:2010年

2020年版では、統計調査されていない項目がある。

第 4 章 一 般 計 画

第 1 節 事業計画の要旨

1. 要 旨

本地域は、中山間地域に位置しており、中山間地域農業農村総合整備事業では場整備及び農道整備を行うことにより、農業生産性の向上や労力の節減を図ることを目的とする。併せて、農業生活環境の整備を行い、農村環境の保全や都市との交流による中山間地域の活性化を目標とする。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分 事業目的	中山間地域農業農村総合整備事業														計 (ha)	備 考			
	田 (ha)	輪換 耕地 (ha)	普通 畑 (ha)	牧草 地 (ha)	樹園 地 (ha)		小計 (ha)	田 (ha)	輪換 耕地 (ha)	普通 畑 (ha)	牧草 地 (ha)	樹園 地 (ha)		小計 (ha)					
ほ 場 整 備			0.7		6.8		7.5											7.5	
農 道 整 備					11.6		11.6											11.6	
(重 複 受 益)					△ 3.2		△ 3.2											-3.2	
計			0.7		15.2		15.9											15.9	

第 2 節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本地区の農業は、柑橘、花卉、いちご等の農業が複合栽培で営まれている。今後においても耕作放棄地の増大を抑制しつつ、複合的農業を地域営農の基本としその振興を図る。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	田	輪 換 耕 地	普通畑	牧草地	樹園地	茶 園	小 計	原 野	山 林	そ の 他	計	備 考	
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)			
中山間 地域農 業農村 総合整 備事業	伊豆河東	現 況	6.6			8.8		15.4		1.8	0.8	18.0		
		計 画			0.7		15.2		15.9		2.1	18.0		
	計	現 況	6.6				8.8		15.4		1.8	0.8	18.0	
		計 画			0.7		15.2		15.9			2.1	18.0	

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 土地利用区分		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当り収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳		備考	
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減量	単位面積当り収量増加		
中山間地域農業農村総合整備事業	田																	
		計																
	畑		いちご	0.1	0.1		100.0	100.0	3,409	3,920	511.0	3.4	3.9	0.5				
			カーネーション	0.0	0.4		100.0	100.0	0	143 千本/10a	143.0	0.0	572.0 千本	572.0				
		計		0.1	0.5							3.4	575.9	572.5				
	樹園地		温州みかん (普通)	0.5	1.3	0.8	100.0	100.0	3,478	4,000	522.0	17.4	52.0	34.6				
			甘夏	0.0	1.3	1.3	100.0	100.0	0	5,000	5,000.0	0.0	65.0	65.0				
			ニューサマー オレンジ	0.0	2.1	2.1	100.0	100.0	0	3,000	3,000.0	0.0	63.0	63.0				
			レモン	0.0	1.0	1.0	100.0	100.0	0	3,500	3,500.0	0.0	35.0	35.0				
			ハウスみかん	0.0	0.4	0.4	100.0	100.0	0	5,274	5,274.0	0.0	21.1	21.1				
		計		0.5	6.1	5.6							17.4	236.1	218.7			
		計		0.6	6.6	6.0												

5. 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 地目名		作物名	作付面積	単位面積当り労働投下量 (hr/10a)			備考
					区分	現況	計画	
					人 力			
					機 械 力			
					人 力			
					機 械 力			

6. 級地別土地利用区分

(第9表-5)

土地利用区分	区分 級地名	農 用 地 造 成 (ha)					干 拓 (ha)					備 考
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農 地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)											
	(牧草畑)											
	樹園地											
	(果樹園)											
その他												
計												

7. 土地配分計画

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地 目 別 配 分 計 画 (ha)							備 考
		田	輪換耕地	畑			計		
				普通畑	牧草畑	樹園地			
増反 入植									

第 3 節 用 水 計 画

1. 計 画 基 準 年 該 当 な し

2. 計 画 か ん が い 方 式 該 当 な し

3. 計 画 用 水 系 統 該 当 な し

4. 計 画 用 水 量

(1) か ん が い 用 水

(第10表-1-1)

項 目	面 積 (ha)			水 田 か ん が い			畑 地 か ん が い			田 畑 輪 換						消 費 水 量 (m ³ /s)	損 失 量 (%)	粗 用 水 量		備 考	
	系 統 名	中山間地域総合 整備事業			普 通 期	代 掻 期	面 積 (ha)	1 日 当 り 計 画 平 均 か ん 水 深	平 均 間 断 日 数	面 積 (ha)	水 田 か ん が い			畑 地 か ん が い				平 均 粗 用 水 量 (m ³ /s)	最 大 粗 用 水 量 (m ³ /s)		
		種 別	水 田	畑	計	計 画 平 均 単 位 用 水 量 (mm/日)		計 画 代 掻 単 位 用 水 量 (mm)	普 通 期 計 画 平 均 単 位 用 水 量 (mm/日)		代 掻 期 計 画 平 均 単 位 用 水 量 (mm)	面 積 (ha)	1 日 当 り 計 画 平 均 か ん 水 深 (mm/日)	平 均 間 断 日 数 (日)	面 積 (ha)						
																					普 通 期
				0.0			0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0000	15	0.0000	0.0000		
				0.0			0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0000	15	0.0000	0.0000		
				0.0			0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0000	15	0.0000	0.0000		
				0.0			0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0000	15	0.0000	0.0000		
				0.0			0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0000	15	0.0000	0.0000		

(2) 営 農 飲 雑 用 水

(第10表-1-2)

区 分	利 用 目 的	対 象 面 積			日 当 り 給 水 量		補 給 回 数	関 係 戸 数	備 考
		事 業 名			単 位 給 水 量	最 大 給 水 量			
				計					

5. 水源計画

(1) 水利用計画

(第10表-2-1)

項目 区分	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足量		水源保存量		水源 工種	備考
	a (千 m^3)	b (千 m^3)	c=a-b (千 m^3)	d=α(1-a) (千 m^3)	水源量	取水地点 利用可能量 e (千 m^3)	田畑面 利用可能量 f (千 m^2)	純不足量 g=c-f (千 m^3)	全不足 水量 h=d-e (千 m^3)	水源名	水量 (千 m^3)		

区分	農業用水 (貯水量)												備考
	現況 (m 3 /s)						計画 (m 3 /s)						
純用水量													
損失水量													
全用水量													
利用 可能 量	計												
	不足量												

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積 (ha)		かんがい面積 (ha)			有効貯水量 (千 m^3)	利用貯水量 (千 m^3)	利用回数 (回)	最大取水量 (m 3 /s)	備考
	直接	間接	事業名 計							

(イ) 井堰及び自然取水口

(第10表-3)

項目 取水施設	河川名	流域面積	かんがい面積 (ha)			取水量		渇水量 (m 3 /s)	備考
			事業名 計			最大 (m 3 /s)	平均 (m 3 /s)		

(ウ) 揚水機

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量		揚水機				備考
		事業名			最大	平均	実揚程	揚水量	台数	全揚水量	
				計	(m ³ /s)	(m ³ /s)	(m)	(m ³ /s)	(台)	(m ³ /s)	

(エ) 用水路

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m ³ /s)	延長 (m)	構造	備考
	中山間地域総合整備事業						
	水田	畑	計				
			0.0				

(オ) その他の水源 該当なし

(3) 水温水質 該当なし

第 4 節 排 水 計 画

1. 計画基準雨量 該当なし

2. 計画排水方式 該当なし

3. 計画排水系統 該当なし

4. 排 水 量

(第11表-1)

項目 排水系統名	受益面積 (ha)			流域面積 (ha)		基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m ³ /s/ha)		基底流量 (m ³ /ha)		全洪水量 (m ³ /s)		単位排水量 (m ³ /s/ha)		備考	
	水田	畑	計	山地	平地		山地	平地	山地	平地	山地	平地		山地		平地
						自然排水						機械排水				

5. 排水対策

(1) 排水水門

(第11表-2)

項目 名称	流域面積 (ha)	受益面積 (ha)			計画排水量		排水本川			備考	
		事業名			排水量 (m ³ /s)	地区内湛水深 (m)	名称	計画降水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)		

(2) 排水機

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (ha)	受益面積 (ha)			計画排水量		排水機				備考
		事業名			排水量 (m ³ /s)	地区内湛水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全排水量 (m ³ /s)	

(3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (ha)	受益面積 (ha)			計画排水量 (m ³ /s)	延長 (m)	構造	排水本川			備考
		水田	畑	計				名称	計画降水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	

(4) そ の 他

6. たん水検討 該当なし

第 5 節 道 路 計 画

1. 道路及び索道

(1) 道 路

(第12表-1)

項目 路線名	幅員 (有効)	× 延長 (m)	構 造	既 設 道 路 と の 関 係	備 考
虎丸農道	4.5	× 267	アスファルト舗装	新 設	
長野農道	4.0	× 1,090	アスファルト舗装	拡 幅	

(2) 索 道

(第12表-2)

項目 路線名	能 力 (t/hr)	延 長 (m)	接 続 道 路 名	備 考

2. 路線配置図

別紙全体計画図

第 6 節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

(第13表-1)

項目 地目名	主 要 作 物	自 然 傾 斜	耕 地 の 形 状	標 準 区 画 の 形 状	備 考

2. 土 壤 改 良

(第13表-2)

項目 区分	面 積 (ha)	土 壤 統 (区) 名	pH		置 換 酸 度 (Y ₁)	リン酸吸収 係 数 (mg/100g)	ha 当 たり 所 要 量			備 考
			H ₂ O	KC I			石 灰 (t)	リン酸質資材 (t)	有機質資材 (t)	

第 7 節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量 該当なし

2. 計画洪水量及び調節量

(第14表-1)

地点	流域面積 (km ²)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m ³ /s)	安全洪水量 (m ³ /s)	必要調節量 (m ³ /s)	ピーク時調節の量 (m ³ /s)	ピーク時調節後流量 (m ³ /s)	調節後最大流量 (m ³ /s)	調節前後の最大流量の差 (m ³ /s)	最大調節量 (m ³ /s)

3. 貯水池

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積 (km ²)		計画洪水量 (m ³ /s)	貯水量 (千 m ³)			計画調整流量 (m ³ /s)	可能調節流量 (m ³ /s)	備考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	多目的			

4. 洪水調節検討

(1) 河川改修計画との関係 該当なし

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響 該当なし

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討 該当なし

5. 管理計画

(1) 管理機構 該当なし

(2) ダム管理操作上の各種基準 該当なし

(3) 洪水調節要領 該当なし

第 8 節 干拓計画

(第15表)

項目 名称	延長 (m)	計画高潮水位 (T.P.m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (hpa)	備考

第 9 節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画形状

(第16表-1)

長辺 × 短辺	区画面積 (a)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (cm)	備考
140m × 52m	70	3.9		-	虎丸
140m × 47m	60	2.3		-	田尻
125m × 30m	44	2.0		-	中川
147m × 60m	87	1.4		-	小杉山

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m ³)	備考
7.4	建設発生土にて盛土を行うため	60	44,400	全工区

(3) 末端道水路配置図 該当なし

2. 暗渠排水

(第16表-3)

項目 区分	面積 (ha)			土壤統(区)名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 (l/s/ha)	計画後の 地下水位 (m)	集水渠出口以 下の排水方式	備考
	事業名	計							

3. 客土

(第16表-4)

項目 区分	面積 (ha)			土壤統(区)名	減水深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a 当り 客土量 (m ³)	土壤の性質		備考
	事業名	計			現況	計画	現況	計画		受益地 (%)	採土地 (客土材料) (%)	
					平均	平均	平均	平均				

4. 農地保全

(1) 防災林

(第16表-5-1)

項目 区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間隔 (m)	備考

(2) 排水工

(第16表-5-2)

区分	項目	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量		備考
					単位排水量 ($\text{m}^3/\text{s}/\text{ha}$)	全排水量 (m^3/s)	

(3) 侵食(崩壊)防止工

(第16表-5-3)

施設名	項目	位置	支配面積 (ha)	機能	備考

第10節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量 該当なし

(2) 計画洪水量 該当なし

2. 堤体補強計画 該当なし

3. 取水施設改修計画 該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池

(第17表-1)

名称	型式	流域面積 (km^2)		位置 堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (km^3)	基盤・地盤 地質	貯水量 (km^3)		備考
		直接	間接					総貯水量	有効貯水量	
洪水吐	型式	洪水量 (m^3/s)	備考	取水施設	型式	取水量 (m^3/s)	放流施設	型式	放流量 (m^3/s)	

2. 頭首工

(第17表-2)

名称	型式	堤体 (m)	堤長 (m)			取水位 (m)	取水量 (m ³ /s)	付帯施設	備考	
			固定部	可動部	計					

3. 揚水機場

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m ³ /s)	揚程 (m)		揚水機			原動機			備考
			実揚程	全揚程	型式	口径(mm)	台数(台)	型式	動力	台数(台)	

4. 用水路

(第17表-4)

項目 水路名	支配面積 (ha)			通水量 (m ³ /s)	延長 (m)			構造	主要構造物	備考
	水田	畑	計		総延長	開渠	その他			

第2節 排水施設

1. 排水水門

(第18表-1)

項目 名称	位置	形式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m ³ /s)	備考

2. 排水機

(第18表-2)

項目 名称	位置	揚水量 (m ³ /s)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	形式	口径(mm)	台数(台)	形式	動力	台数(台)	

3. 排水路

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)			排水量 (m ³ /s)	延長 (m)			構造	主要構造物	備考
	中山間地域総合整備事業				総延長	開渠	その他			

4. その他

該当なし

第 3 節 道路及び索道

1. 道路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項目 区分	路線名	幅員 (m)		構造	付帯構造物			最急 勾配 (%)	同左の 延長 (m)	最小曲線 半径 (m)	備考
		× 延長 (m)			名称	構造	数量 (延長)m				
農道	虎丸農道	4.5	× 267	表層(密粒度アスコン) t=4cm 上層路盤(粒調砕石) t=12cm	付帯水路工	U字側溝	534 m	11.0	156	—	アスファルト舗装
	長野農道	4.0	× 1,090	表層(密粒度アスコン) t=4cm 上層路盤(粒調砕石) t=12cm	付帯水路工	U字側溝	929 m	10.0	103	—	アスファルト舗装
計			1,357								

(2) 道路主要構造物

(第19表-2)

項目 路線名	名称	規模構造	延長 (m)	箇所名 (箇所)	備考

2. 索道

(第19表-3)

項目 名称	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原動機		備考
				型式	動力	

第 4 節 農 用 地 造 成

1. 農用地造成工

(1) 抜 根

(第20表-1)

項目 区分	樹 種	樹 径 (cm)	ha 当り 本 数 (本/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考

(2) 除 礫

(第20表-2)

項目 区分	対 象 土 層 の 厚 さ (cm)	ha 当り 標 準 除 礫 量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考

(3) 開 墾 作 業

(第20表-3)

区分	項目		面 積 (ha)	工 法	備 考
	地 目	造 成 工 法			
	計				

(4) 地 目 変 換

(第20表-4)

項目 区分	面 積 (ha)	工 法	備 考
計			

(5) 末 端 用 水 路 等

(第20表-5)

項目 区分	数 量	規 模	構 造	備 考
計				

(6) 末端排水路等

(第20表-6)

項目	数量	規模	構造	備考
区分				
計				

2. 土壌改良

(第20表-7)

項目	面積 (ha)	石炭量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備考
区分					
計					

第5節 洪水調節施設

1. 貯水池 該当なし

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工

(第21表-2)

名称	位置		長 (m)			計画洪水位 (m)	付帯設備	備考
	集水面積 (km ²)	堤高 (m)	固定部	可動部	計			
形式								
計								

(2) 導水路

(第21表-3)

項目 水路名	通水量 (m ³ /s)	延長 (m)			構造	勾配	備考
		総延長	トンネル	その他			
計							

第6節 干拓施設

1. 堤防

(第22表-1)

項目 名称	形式	延長 (m)	構造				原地盤標高 (m)		備考
			堤頂標高 (m)	盛土高 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	
計									

2. 潮止め

(第22表-2)

項目 名称	工 法	幅 員 (m)	敷 高 標 高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最 大 流 速 (m/s)	床 固 め 構 造	備 考

3. 付 属 施 設

4. 埋 立

(第22表-3)

項目 名称	面 積 (ha)	埋 立 標 高 (m)	埋 立 土 量 (m ³)	施 工 方 法	備 考

第 7 節 農用地整備計画

1. 区画整理

(第23表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標 準 区 画	土 量 (m ³)	面 積 (ha)	土 量 (m ³)	

(2) 末端用水路等

(第23表-2)

項目 区 分	数 量	規 模	構 造	備 考

(3) 末端排水路等

(第23表-3)

項目 区 分	数 量	規 模	構 造	備 考

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

項目 区分	面積 (ha)			集水渠				吸水渠					集水渠出口以下の排水施設			備考
	事業名			勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造	
計																
計																

(2) 心土破碎

(第23表-4-2)

項目 名称	対象土層の厚さ (cm)	ha 当り標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

3. 客土

(第23表-5)

項目 区分	面積 (ha)			客入土量 (m ³)	土取場土量 (m ³)	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
	事業名							
計								
計								

4. 除礫

(第23表-6)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha 当り標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

5. 農地保全

(1) 防災林

(第23表-7)

区分	種目	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考
	計						

(2) 排水路

(第23表-8)

区分	項目	延長 (m)	流量 (m ³ /s)	構造	備考
	計				

(3) 侵食防止工

(第23表-9)

名称	項目	構造	数量	備考
	計			

第 8 節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

(第 24 表)

名称	位置				備考			
	形式	流域 (km ²)	堤高 (m)	堤長 (m)		堤体積 (m ³)	堤長幅 (m)	貯水量 (千m ³)
堤体								
洪水吐	形式	洪水量 (m ³ /s)	規模 (m)	備考	取水施設	形式	取水量 (m ³ /s)	備考

2. 堤体補強施設

(1) 法面保護施設 該当なし

(2) 漏水防止工 該当なし

第 9 節 鳥獣害侵入防止施設

名 称	施 設 内 容	規 模	対 象 動 物 等 の 状 況	施 設 の 現 状	備 考

第 6 章 付 帯 工 事 計 画

該当なし

第 7 章 工 事 の 着 手 及 び 完 了 予 定 時 期

1. 工 期

着 手 : 令 和 8 年 度

完 了 予 定 : 令 和 15 年 度

第 8 章 環 境 と の 調 和 へ の 配 慮

1. 地 域 環 境 の 概 況

本地区は、東伊豆町及び河津町の田園空間マスタープランでは環境創造区域に指定されており、環境に配慮した計画・施工を行うものとする。

整備にあたり、自然と共生する環境の創造に積極的に取り組み、生態系や環境及び地域循環に配慮した施設の導入を図ることで、農業・農村の有する多面的な機能が

十分に発揮される環境づくりを目指す。

第 9 章 換地計画の概要

第 1 節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

当該事業により、工事前の土地の区画、形質が著しく変更されるため、従前の権利関係を換地処分により、工事後の土地に確定する。

これは、農用地の集団化により農業構造を改善する事が目的である事から換地計画を定める必要がある。

第 2 節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)	備考
伊豆河東地区 虎丸工区	河津町見高	3.9	
伊豆河東地区 田尻工区	河津町見高	2.3	
伊豆河東地区 中川工区	東伊豆町稲取	1.7	換地区域外の受益0.3haを除く。
伊豆河東地区 小杉山工区	東伊豆町稲取	1.4	
計		9.3	

2. 換地区を設定する理由

換地区については、農地の分散状況、土地利用条件及び整備内容に伴う減歩の差等を考慮し、早期に計画的な換地処分を図るため4換地区を設定する。

第 3 節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準	備考
伊豆河東地区 虎丸工区 伊豆河東地区 田尻工区 伊豆河東地区 中川工区 伊豆河東地区 小杉山工区	土地改良事業計画確定の日の登記簿地積とする。また、確定の日から6ヶ月以内に測量士、測量士補又は、土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申出があった場合は、その申出のあった地積とする。	

2. 用途別予定地積

(第25表-3)

換地区名	用途 (取得予定者) 前 後	非農用地区域外に換地する土地										非農用地区域に換地する土地							機能交換に係る土地				一般 国 公 有 地	総 合 計							
		田	樹園地	山林・原野	その他	通常事業施行地域に含める土地 (令第1条の4(書))			計	本事業によって生ずる土地改良施設用地			合計	特定用途用地			異種目換地	農業経営用地	施設用地	生活用上必要な用地	公設用地	施設用地			宅地等	計	合計	国	県	市町村他	合計
						土地改良	その他	小計		改良区	その他	計		宅地	その他	計															
虎丸	従前の土地(登記簿)	2.1	0.1	1.3					3.5																			0.4	0.4	0.0	3.9
	従前の土地(実測)	2.1	0.1	1.3					3.5																			0.4	0.4	0.0	3.9
	換地		3.2						3.2		0.1	0.1	3.3															0.6	0.6		3.9
田尻	従前の土地(登記簿)	2.2		0.0					2.2																			0.2	0.2		2.4
	従前の土地(実測)	2.1		0.0					2.1																			0.2	0.2		2.3
	換地		2.0						2.0																			0.3	0.3		2.3
中川	従前の土地(登記簿)	1.1		0.0					1.1																			0.1	0.1	0.0	1.2
	従前の土地(実測)	1.5		0.1					1.6																			0.1	0.1	0.0	1.7
	換地		1.2						1.2																			0.5	0.5		1.7
小杉山	従前の土地(登記簿)	0.7	0.0	0.3					1.0																			0.1	0.1		1.1
	従前の土地(実測)	0.9	0.0	0.4					1.3																			0.1	0.1		1.4
	換地		0.9		0.1				1.0																			0.4	0.4		1.4
計	従前の土地(登記簿)	6.1	0.1	1.6					7.8																			0.8	0.8	0.0	8.6
	従前の土地(実測)	6.6	0.1	1.8					8.5																			0.8	0.8	0.0	9.3
	換地		7.3		0.1				7.4		0.1	0.1	7.5															1.8	1.8		9.3

3. 農用地集団化の方針

(第25表-4)

換地区名	区分	地帯別、グループ別 団地の設定	個人別換地の方			備考
			位置の選択方法	1戸当り目標団地数	区画畦畔の取扱い	
虎丸 田尻 中川 小杉山		農用地利用集積促進区域別 集団化	各人の換地は、土地利用計画を考慮し、育成すべき経営体の経営農用地を中心に集団化する。	1戸当りの団地数はおおむね1~2団地とする	畦畔なし	

4. 非農用地換地の方法

(第25表-5)

区分 換地区名	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (㎡)	換地の手段	換地取得予定者	備考
該当なし						

第 4 節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

.....標準地比準方式.....

2. 清算の方法

.....増価額比例地積清算方式.....

第 5 節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備考
虎丸	令和11年度～令和13年度	令和14年度	令和14年度	
田尻	令和9年度～令和11年度	令和12年度	令和12年度	
中川	令和9年度～令和13年度	令和14年度	令和14年度	
小杉山	令和9年度～令和11年度	令和12年度	令和12年度	

第 6 節 換地処分の時期に関する特則

.....本地区の各工区ごとについて区画変更工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項で準用する同法第54条第2項ただし書きに基づき換地処分を行うことができるものとする。.....

第10章 事業費の総額及び内訳

(単位:千円) (第26表)

事業種目 \ 工種名	ほ場整備	農道				計	備考
1. 工事費	676,000	362,000				1,038,000	
小計	676,000	362,000				1,038,000	
2. 測量設計費	145,000	80,000				225,000	
3. 用地買収補償費	36,000	100,000				136,000	
4. 換地費	65,000	-				65,000	
小計	246,000	180,000				426,000	
事業費	922,000	542,000				1,464,000	
5. 地方事務費	44,000	26,000				70,000	
総事業費	966,000	568,000				1,534,000	

第11章 効 用

(第27表)

事業名	区 分	増加見込効果額 (千円)	増加見込所得額 (千円)	備 考
中山間地域農業農村総合整備事業	作物生産効果	10,977	27,474	食料の安定供給の確保に関する効果
	営農経費節減効果	43,916	43,916	〃
	維持管理費節減効果	△ 1,563	△ 1,551	〃
	営農に係る走行経費節減効果	34,265	-	〃
	地籍確定効果	90	-	〃
	国産農作物安定供給効果	3,848	-	〃
				総費用 (現在価値化) 1,369,353 千円
				総便益額 (現在価値化) 1,543,274 千円
	計	91,533	69,839	総費用総便益比 1.12

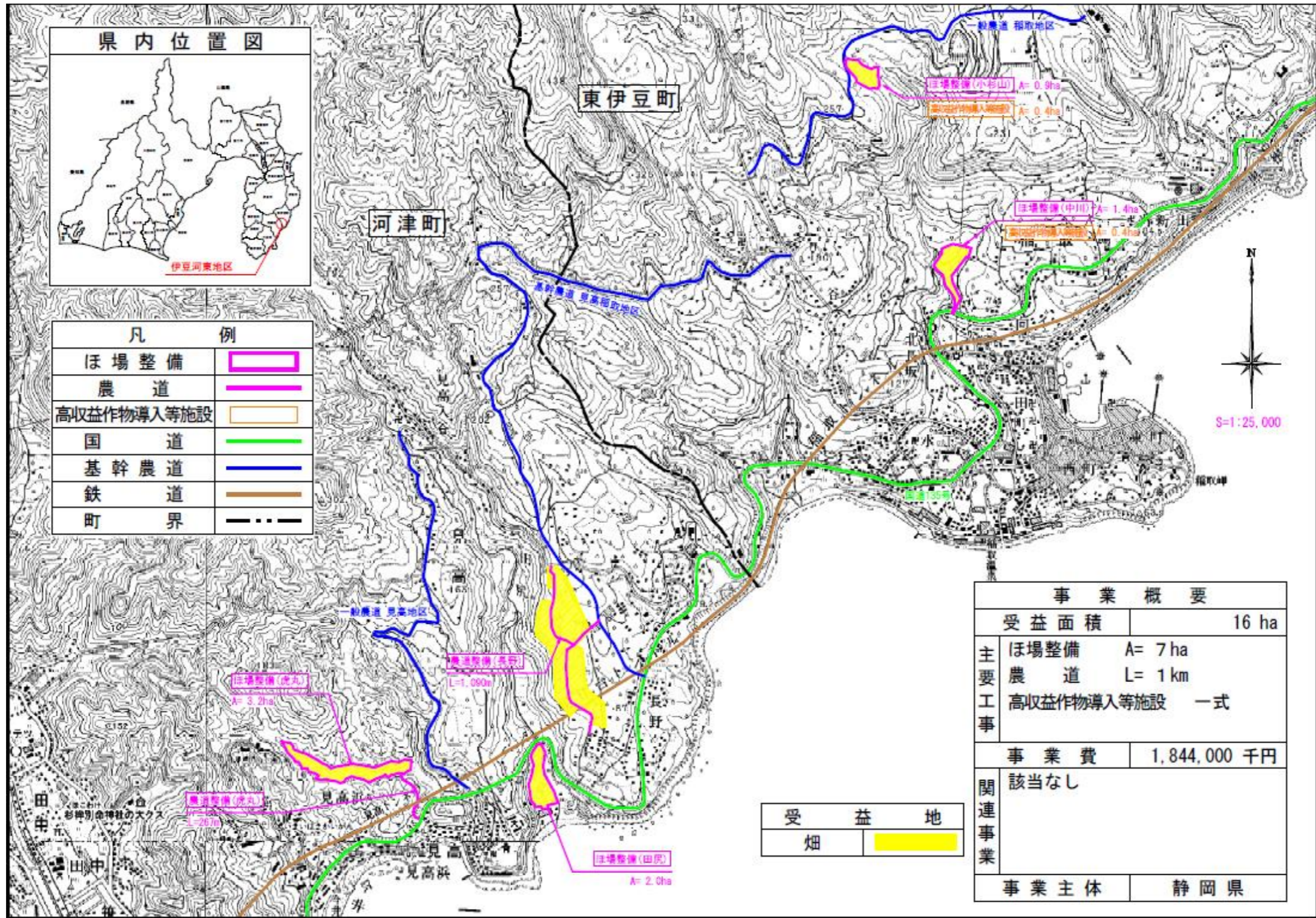
第12章 関連する事業

.....該当なし.....

第13章 現況・計画図面

1. 計画構想図 (1 / 25,000)
2. 土地利用計画図 (1 / 30,000)
3. 計画平面図 A3 (1 / 2,000)

全体計画図



凡 例	
ほ場整備	
農道	
高収益作物導入等施設	
国道	
基幹農道	
鉄道	
町界	

事業概要	
受益面積	16 ha
主要工事	ほ場整備 A= 7 ha
	農道 L= 1 km
	高収益作物導入等施設 一式
事業費	1,844,000 千円
関連事業	該当なし
事業主体	静岡県

受益地	
畑	